



第73号

●主な記事

平成30年度行事のご案内
支部・同期会・OB会日より
母校近況・寄贈図書

平成30年6月11日発行
一般社団法人 長野高等学校金鷄会
事務局 ☎(026)235-3822
発行人 加藤 久雄
編集人 桃林 聖一
.....
URL
<http://www.kinshi.org>
E-Mail
dousoukai@kinshi.org



長野高等学校創立120周年に向けて

会長 加藤久雄（高13回）

今年はいつになく花の便りの早い春を迎えております。同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度に「長高緑の基金」として、主に金鷄会館前庭の松の木の保全のための募金をお願いしたところ、多くの皆様からご協力をいただき、総額120万円余になりました。お陰様で、さっそく赤松12本の剪定を行うことができ、弱っていた木々も少しずつ元気を取り戻しつつあるように感じております。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

さて、長野高校は、いよいよ2019（平成31）年に創立120

周年を迎えることとなります。現在、実行委員会を組織して、企画内容や準備を進めているところです。予定では、来年の10月～11月に記念式典を挙行したいと考えております。また、記念事業として、1・2年生と定時制の教室、職員室にエアコンを設置したいと企画しております。本来であれば、県に設置していただきたいところではありますが、財政状況も厳しき折、猛暑による学習環境の悪化を早期に改善するためには、同窓生やPTAの皆様のご負担で実現するほかありません。

どうか、現役生のために同窓生の皆様の大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



創立120周年企画 募金目標額 4,000万円

1. 記念式典 2019(平成31)年10月～11月
式典・記念講演・アトラクション
2. 記念祝賀会 式典終了後、市内ホテルにて
3. 記念事業
 - ①校舎内へのエアコンの設置
 - ②エアコン維持費のための太陽光発電設備
 - ③校歌・応援歌CDの発行
 - ④広報活動 新聞・テレビ
 - ⑤その他・生徒への記念品・桜の植樹など

現在のところ、上記のような計画でおります。この他、このような企画はどうだというようなご意見があれば、事務局までお寄せください。

この企画を実現するために、PTAにもご負担をお願いしながら、同窓会としても独自に4,000万円の募金目標金額を設定しました。今回、会費免除になっている学年も含めて全学年の皆様へ郵便局用の振込用紙を同封させていただ

きました。1口1,000円で、できれば3口以上お願いしたいところですが、何口でもかまいませんので、ご協力よろしくお願いいたします。また今後、学年同期会や支部金鷄会等からも募金の要請があるかもしれませんが、いずれか、または重ねてのご協力を賜れば幸いです。

募金方法

- ①同封の郵便局振込用紙利用
(全学年の皆様と同封してあります)
- ②銀行振込

八十二銀行 長野北支店 普通 480764
一般社団法人長野高等学校金鷄会

この他、同窓会費納入振込用紙(3,000円 郵便局・コンビニ用)も同封してあります(高8回より上の方は、免除になっておりますので同封していません)ので、こちらも変わらずにご協力をお願いします。

創立120周年を控えて

学校長 原 良通



学校長の原良通でございます。昨年度に引き続きお世話になります。

3月、新しい同窓会員となる高校70回の卒業生を送り出し、4月には高校73回となる新入生を迎えて新年度がスタートしました。同窓会員の皆様には日ごろより物心両面でご支援いただき感謝申し上げます。

長野高校は来年創立120周年を迎えます。振り返りますと、単に歴史の長さだけでなく、そこに集い、巣立っていった数多くの同窓生が各界で活躍している歴史があります。それが長野高校という存在に「厚み」、「深み」をもたらしているものと確信しています。現役の生徒たちも後に続くべく、それぞれの目標に向かって日々努力しています。

ご支援いただいているSGH（スーパーグローバルハイスクー

ル）の活動は、文科省の指定は今年度で最後となります。この5年間で本校としての課題研究のあり方、海外研修、外国語（英語）の活用・プレゼンテーション力の育成等に一定の成果がみえ、指定終了後の本校の教育活動に継続発展させてまいる所存です。このSGH事業推進には諸先輩のご協力を多方面からいただきました。おかげさまで、本校の特徴となる形で事業が進められています。ありがとうございます。

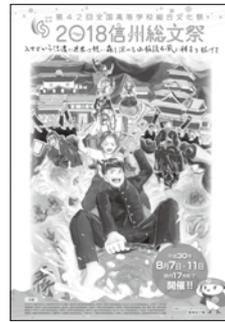
いずれにしましても、120年の歴史と伝統を引き継ぎ、長野高校が県下屈指の高校としてあり続けるために、「至誠一貫」「質実剛健」「和衷協同」の校訓のもと生徒・教職員一丸となって尽力してまいります。

皆様には母校の発展のために、今後ともご支援よろしく願います。



2年生全員参加の研修旅行（修学旅行）は、SGH事業の一環として台湾へ4泊5日で行われています。現地では企業又は大学での研修や、台湾の高校を訪問するなど交流を深め、充実した旅行となっております。

写真は台湾東南部のフィールドワーク。蓮池潭にて。



文化系クラブの甲子園ともいわれる2018信州総文祭が、来たる8月7日（火）～11日（土）、長野県内各地で開催されます。

一般の方もご観覧いただけますので、どうぞお出かけください。

信州総文祭ホームページ
<http://shinshu-soubun-sai2018.jp/>

母校近況

平成29年度金鷄賞 長野高校クラブ活動近況

平成29年度に顕著な活躍をした班・部活に同窓会より総額40万円の副賞を添えて金鷄賞を贈りました。

1. 金鷄優秀賞

- ・弓道班 7万円
〈北信越大会〉男子団体3位入賞
- ・新聞部 7万円
〈全国高校新聞年間紙面審査賞〉最優秀賞



第47回全国高校新聞コンクールの受賞式で、大東文化大学学長賞を授与されました。

2. 金鷄優良賞

- ・剣道班 4万円
〈北信越新人大会〉男子団体出場

- ・ソフトテニス班 4万円
〈インターハイ〉出場
- ・ECC班 4万円
〈全国高校生英語ディベート大会〉入賞
- ・かるた班 4万円
〈長野県大会〉優勝 〈全国大会〉出場
- ・陸上班 3万円
〈北信越大会〉出場
- ・羽球班 2万円
〈北信越大会〉出場
- 3. 金鷄奨励賞
 - ・吹奏楽班 1万円
〈管楽器個人・重奏コンテスト〉本大会出場
 - ・放送部 1万円
〈NHK杯全国放送コンテスト全国大会〉出場

- ・書道班 1万円
〈長野県書道展覧会〉特選
- ・美術班 1万円
〈長野県高等学校美術展〉秀作
- ・華道班 1万円
〈行事式典などへの貢献〉

4. 金鶏特別賞

上記各班で活躍した個人23名の他、SGH甲子園研究成果プレゼンテーション部門に出場した5名、長野県自然科学部研究発表会優秀賞を受賞した定時制生徒3名、その他個人2名に、記念品を添えて特別賞を贈りました。

● 籠球班の活動紹介

顧問 相澤昌輝 矢澤徳夫

同窓会の皆様には日頃より籠球班の活動に対しましてご支援を賜り御礼申し上げます。この伝統ある籠球班も昨年設立90周年を迎えました。これもひとえに、長年にわたり籠球班を支えてきてくださったOBの方々や同窓会の皆様のお陰です。

さて、今回は籠球班の現在の様子と活動内容を紹介します。籠球班は2・3年生の選手15名とマネージャー1名のところに、この春1年生の選手11名とマネージャー1名が加わり総勢28名となりました。春の総体と選抜大会、新人戦のいずれの大会も1試合でも多く勝ち進み、県大会でも上位に進出することを目標に日々の班活動に取り組んでいます。私立高校の台頭や伝統校の強さが際立ち、なかなか上位進出が厳しい状況ではありますが、班員たちは持ち前の集中力や理解力で技術の習得に勤しんでおります。

技術や体力の向上も大事ですが、

挨拶やマナー、班活動に一生懸命に取り組むことや仲間と力を合わせることで、悔しさをバネに次へステップアップすること等も大切に指導を心がけております。

先輩方のかつてのような輝かしい戦績を残していけるよう、また、生徒の達成感や楽しさに結び付けてあげられるよう生徒と力を合わせて取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



● 吹奏楽班

顧問 夏目 涼

吹奏楽班は、昨年度は個人・重奏コンテスト本大会金賞(フルート独奏)、日本ジュニア管打楽器コンクール本大会銀賞



4月22日、イオンタウン三輪での演奏

(木管五重奏)などの成績を収めました。

今年度、長野県主管で行われます全国総合文化祭「2018信州総文祭」には、マーチング・バトン部門(エムウェーブ)、吹奏楽部門(キッセイ文化ホール)の2部門に、長野・中野西・上田の3校合同バンドとして出演する予定です。特に吹奏楽部門には、全県の合同バンドの中から最優秀団体として選抜されての参加となります。

第46回定期演奏会は、6月3日(日)、ホクト文化ホール改修のため、今回初めて長野市芸術館で開催し、多くのお客様にご来場いただきました。ありがとうございました。

年度末には第50回OB・OG定期演奏会(3月30日(土)ホクト文化ホール)を予定しております。記念となる演奏会ですので、盛大な会となりますよう、ぜひ多くのOB・OGの皆さんにご参集いただきたいと思います。

平成29年度米国リーダー研修報告

英語科 吉田 篤

本校同窓会ならびに本校同窓生の多大なるご協力のもと、標記研修を大禍なく終えることができました。今回の研修は平成30年3月10日(土)～16日(金)までの6泊7日の日程でした。行程の主だったものとしましては、ハーバード大学生とのプレゼンテーション発表を中心とした終日の交流、ミルバーン高校との終日の交流、国連見学、PwC企業訪問および本校同窓生と世界でご活躍の方々との夕食会、MIT(マサチューセッツ工科大学)や歴史的、文化的施設の見学など、大変忙しい日程ではありましたが中身の非常に濃い研修となりました。

毎年内容に改善を加えてきておりますが、今年度新たに行った事業が世界屈指のコンサルティング会社であるPwCの企業訪問および世界でご活躍されているの方々との夕食会です。本活動は本校同窓生でPwCでご活躍中の中島孝明様(高30回)のご厚意により実現したものです。PwC企業訪問においては、日常の高校生活では体験できないグローバル企業を目の当たりにする大変貴重な経験を得ました。そして、中島様のご人脈と多大なるお力添えのもとに開催された世界でご活躍されているの方々との夕食会へと続いていきました。夕食会はニューヨーク屈指のステーキハウス

で行われ、ご同席いただいた方だけでなく食事にも圧倒されました。参加した生徒諸君は、この激動する世界においても揺るがぬ長野高校の伝統と長野高校が長野高校たる所以を異国の地でも感じるものとなりました。

最後になりますが、本校同窓会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、これから本研修への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。参加生徒のみならず引率教員にとっても大変貴重な研修となりました。本当にありがとうございました。



ハーバード大学、ジョン・ハーバード像の前で

平成29年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入		(単位：円)
科目	決算額	
雑収入	45	
前年度繰越金	6,065,128	
合計	6,065,173	

支出		(単位：円)
科目	決算額	
ICT環境整備	851,472	
PCリース代、ノートPC&ソフト		
フレッツ利用料	80,892	

科目	決算額
善光寺グローバルサミット 宿泊費・食費、光熱費、保険料	276,530
フィールドワーク交通費補助	151,170
生徒派遣費	58,752
印刷費	82,620
雑費 振込手数料等	648
支出計	1,502,084
次期繰越金	4,563,089
合計	6,065,173

支部・同期会・OB会だより

高23回定時制 同期会 平成29年度総会

平成29年11月29日(水)「寿し龍」において、表題の通り開催し、更に長野市議会議長の任務を完了した小林義直さんの慰労会も行いました。

卒業と同時に継続している同期会は、それぞれの人が多忙となり現在は年3回程の実施回数です。60歳も後半になり仕事・

健康そして家族構成の変動など年々の対応に取り組んでいます。出席者同士は互いに参考になる情報を交換し、更なる連帯感の向上と生き方情報の共有化がステップアップしています。

東福寺住職の渡辺さんからは、貴重な体験も含めた現在の激変社会の対応方法や家族を含む人間の進むべき道など、周囲の人にも伝えたい倫理哲学観を投げかけていただき、楽しい勉強会の様相を呈しています。



長野市議会議員四期当選の小林義直さんは、平成29年9月末で2年間にわたる市議会議員長の任務を完了しました。2年間頑張った内容の感想を受け、全員が心から大きな拍手を送り労いました。

平成29年度の総会(金鷄会学年幹事会)が、6月24日に開催されましたので、その内容報告を行いました。特に「日新鐘」(第72号)に掲載されました通り「定時制学年幹事募集」について、「運用規程改定」(案)が議案提出され承認された件における経過と背景を説明し、更なる理解と一層の協力を進めるための土壌作りに取り組むことを誓い合い、次回の同期会を楽しみに懇親会をお開きとしました。(西澤繁和)

東京長高金鷄会

東京長高金鷄会は、昨年12月2日(土)にコートヤード・マリOTT銀座東武ホテルで講演会と総会・懇親会を開催いたしました。

講演会のメイン講演はヤマトホールディングスの社長、山内雅喜氏(高31回)が「クロネコヤマトの満足創造経営」と題して行いました。社会インフラとしての民間企業の役割や、その裏には実は真心が必要なのだという想いを熱く語っていただき一同感激いたしました。

第2講演は、漫画家の井浦秀夫氏(高26回)が「刑事ゆがみ」原作漫画とTVドラマ」と題して行いました。ちょうどフジテレビでドラマ化されていた折で、漫画とドラマの方法論の違い



などを温かみあふれる言葉で聞くことができました。

第3講演は、書家の関吾心(関悟)氏(高12回)が「書を楽しむために」と題して行いました。書の鑑賞のポイントや美しく文字を書くための簡単な心得を、素人にもわかりやすく楽しく語っていただきました。実は、関氏にはこのたび「東京長高金鷄会」の横断幕と、併せて校訓「至誠一貫 質実剛健 和衷協同」の垂れ幕の揮毫をお願いし、引き続き総会ではそのお披露目も行われました。

総会では、柄澤康喜会長(高21回)挨拶や活動報告などがあり、懇親会では当日の講演者とも大いに懇親を深めました。中村隆次氏(金鷄会副会長)、桃林聖一氏(同事務局長)には遠路お越しいただき、また、ご挨拶をいただき本当にありがとうございます。(高33回 近藤英一)

岡山金鷄会

私たちは昨年「岡山金鷄会」を設立しました。私金澤は、岡山大学病院に勤務しており、現在医学部放射線医学教室教授であります。平成29年4月より病院長となりました。大変うれしいことに、笠原真悟君(昭和58年卒・高35回)が、平成29年8月より岡山大学心臓血管外科学教室教授に就任して、岡山大学医学部の臨床系教授に長野高校卒業生2人が存在することとなりました。昨年は、岡山大学医学部に在学していた成田周平君(平成22年卒・高62回)が卒業することとなり、それを機に「岡山金鷄会」を設立しました。成田君は、今春より福岡県の病院で卒後臨床研修を開始したので、本年度の「岡山金鷄会」は笠原君の教授就任祝い兼ねて金澤、笠原の2名で行いました。



笠原君は北里大学医学部を首席卒業後、小児心臓血管外科の我が国のメッカである岡山大学心臓血管外科学教室に入局し、ニュージーランド留学でその腕を磨き、今や我が国を代表する小児心臓血管外科医となりました。病院長として大いに期待しているところです。笠原君の教授就任会では私もお挨拶する機会があり、「1870年に岡山藩医学館としてスタートした岡山大学医学部の150年近い歴史のなかで、長野高校出身の教授が2人存在することは奇跡であり、先輩の私としては心からうれしい」と申し上げました。長野市から約600キロ離れた岡山の地で、私たちが頑張っていることを同窓の皆様にもぜひ知っていただきたいと思います。

岡山大学医学部ならびに病院は、戦前中国四国地方唯一の医師育成機関であった岡山医科大学を前身としており、中国

四国地方を中心に250の関連病院を持つ伝統ある実力校です。現在は中国四国地方唯一の臨床研究中核病院(全国10施設)でもあり、笠原君の小児心臓血管外科手術、肺移植等々、様々な分野で我が国のトップを走っています。長野高校在校生にはぜひ岡山大学医学部を志していただきたいし、卒業生の医師の皆さんにもぜひ岡山大学病院を研修先、あるいは職場として選択していただきたいと願っております。ちなみに私は放射線科医ですが、放射線医学の世界でも長野高校卒業生が活躍されており、重粒子線治療で有名な群馬大学教授の中野隆史先生(昭和47年卒・高24回)、膝のMRI診断の権威である埼玉医科大学教授の新津守先生(昭和50年卒・高27回)などがおられます。

長野市に医学部のない関係からか、その優れた学力のわりには長野高校から医学部に進学する学生数が少ない感じがします。ぜひ、医学部に進学する長高生が増えてくれたらと、笠原君とも話しているところです。私は19歳で岡山大学医学部に入学して、岡山の生活の方がはるかに長くなりました。しかし、笠原君と2人、いつも「山また山」をうたいながら、故郷、特に長野高校を思う気持ちには大変深いものがあります。

最後になりますが、この報告を機に、「岡山金鷄会」あるいは「中国四国地方金鷄会」(仮称)に参加して下さる同志がおりましたら、こんなうれしいことはありません。ご連絡ください。
(高26回 金澤 右)

長野高校剣道班OB新年会

恒例の長野高校剣道班OB会が今年も「レストランやま」で1月2日(火)に開催されました。

本年は会に先立ち、長野高校剣道場にて試合用胴(スクールカラーのエンジに金鷄のマークの入った胴、男女14組)の贈呈式に、宮沢元会長、19回佐藤氏、青木の3名が出席し、無事執り行うことができました。新しい試合用胴の効果か、昨年秋の新人戦では県大会で準優勝、2月の福井で行われた北信越大会ではベスト8に残るといふ快挙を成し遂げました。メンバー構成をみると今年は更に活躍が期待できそうです。

まさに19回生佐藤氏の提案で始まった寄付集めの成果と思われれます。また32回生河守君らが中心になり20年程継続している正月初稽古で、OBと現役とのきずなができていたことが今回



の事業につながりました。他の班活でも是非OBと現役のつながりをつけ、寄付を集め現役諸君に有効に活用、活躍してもらいたいものです。
(剣道班OB会会長 高20回 青木茂人)

高13回 東京長高三六会

平成30年新年会、盛況裡に開かる

長高三六会平成30年東京新年会が、1月19日(金)12時より、ホテルグランドヒル市ヶ谷(新宿区・市ヶ谷)で、長野市、関西在住の同窓生を含めた65人が参加、盛大に行われました。

司会役・元NHKアナウンサーの加藤昌男君(1組)の名調子で会は進められ、山岸健宏(1組幹事長)の開会挨拶に引き続き、この一年の物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げました。次いで、ルーマニア・ブカレスト在住の大田芳道君(2組)による、「外から見たニッポン」と題する記念講演。日立造船、大日本インキの技術者としてウクライナ、ルーマニア、アメリカなどで、高度成長時代を担い活躍された貴重な体験談、退職後ルーマニアで技術翻訳に携わりながら東西対立解消後の世界の複雑な動きをウォッチングし続ける生活など、興味深いお話をいただきました。

その後、乾杯に引き続き、クラスごとに分かれたテーブルで、時にはテーブル越しに、懐かしい顔を見つけて歓談・交流。長野

代表(5組花岡莊太郎君)、関西代表(7組高坂昌利君)らによるスピーチが入り、会はいっそう和やかに。宴たけなわとなり、記念撮影の後、次回幹事の3組(鈴木奎三郎幹事長)への引き継ぎ式。そして、最後は恒例の五明則保君(9組)の指揮で校歌「山また山」の、後期高齢者年代とは思えぬ若々しい大合唱。武井英



明君(2組幹事長)の閉会挨拶で名残を惜しみつつ散会となりました。

諸兄姉、来春もまた元気な姿で再会いたしましょう。

(1組幹事 山岸 修)

松本金鷄会

「第7回松本金鷄会」が2月6日(火)松本市の梅風閣にて、37名の同窓の皆さんが集まり開催されました。

毎回幅広い年代が一堂に会する恒例の場となっておりますが、今回も高8回から高61回までと半世紀にわたる世代の違いを乗り越える会となりました。

開会に際して、松本金鷄会会長、(株)市民タイムズ代表取締役社長の新保力さん(高11回)からご挨拶をいただき、副会長の(株)五千尺代表取締役会長の藤澤繁雄さん(高11回)の乾杯で開宴となりました。

会を重ねてまいりますと、当会の特長がいくつかははっきりしてきたような気がしております。そのうちのひとつとして、医療関係者・薬剤関係者が多いということがあります。職場・職種を中心に会のご案内をさせていただいている結果といえますが、特に幹事長を務めていただいている安曇野赤十字病院院長の中野武さん(高25回)からは、多くの医療関係者にお声掛けをいただき、会を重ねるごとにその層に厚みが増しております。また、中野幹事長からは毎回スピーチで健康のお話をいただいておりますが、今回は「健康のためには上司の言うことは聞かないのが良い」という刺激的な指摘があり、若い層からは納得(!)の反応が見られました。

結びに副会長の(株)日本広告代表取締役社長の池田紀夫さん(高11回)による中締めのご挨拶をいただき、応援団OB山岸利行さん(高31回)によるエールに続き、「山また山」の合唱で散会しました。

松本金鷄会は、冒頭に記しました通り幅広い年代のご参加に



よる柔らかな集いです。松本にて大いに「山また山」を歌いましょう。

第8回は7月17日(火)開催の予定です(会場では7月24日とご案内いたしました但し変更となりました)。

(高31回 金子智雄)

近畿長高金鶏会 新年会開催

近畿長高金鶏会新年会は2月10日(土)梅田で開催される。出席者29名。小林会長(高15回)の挨拶、嶋倉宏さん(高3回)の音頭で乾杯。

12年ぶりの出席の佐藤孝行さん(高11回)に最初のお話をいただく。今まで長野に単身赴任し、大阪に戻って1カ月ほどとのこと。実家は山ノ内町、志賀高原の近くとのこと、関西がいいのは雪下ろしをしないで済むことだそうです。長野は温暖化のせいか雪が少なくなったとはいえ、関西に比べたら雪深い土地ということでしょう。

亀田洋子さん(高12回)は、1年のうち海外生活のほうが長いのではないと思われるほど。先日オーストラリアから帰国したばかりとのこと、実に若く、タフで、顔の色つやもよく、ハリのある声でお話された。

小林正子さん(高17回)は前回同様、夫君剛さん(高13回)の付き添いということで参加されました。ご主人との馴れ初めなど話され、男の多い金鶏会に正に色を添えた形でした。ご主人が野球クラブにいたこともあり、長野代表の応援に余念がないなど、ご夫婦仲睦まじさがにじみでたお話でした。

高坂昌利さん(高13回)は、野球応援の話がでたところで、1月に広島で行われた天皇杯男子駅伝の話が披露された。長野から阿部知事はじめ県会議員6人が来られた。その中に、近畿長高金鶏会に何度か長野から参加された高島陽子さん(高39回)もいらっしや、夏の近畿長高金鶏会には来られるらしい、との話でした。

深見敬子さん(高34回)は、音楽療法の普及で活躍されている。自分の時間が持てるようになったと、感慨深い話をされた。

安藤隆雄さん(高17回)は、親子二代のテーマ、0時の時計の調査研究に余念がなく、すでにそのテーマの本を2冊上梓し、今3冊目に取り組んでおられる。小林会長が紹介された国立民

族学博物館名誉教授中牧弘允なかもまきひろちかさんと同級生であったことも話された。中牧名誉教授は、日本経済新聞の夕刊に昨年12月4日から12月8日までの5日間連載で、その人物及び偉業が紹介された人物です。

大日方重利さん(高13回)は、45年間心理学の研究をされ、今現在も元気に毎週1回静岡の大学へ行かれているとのことでした。後期高齢者入りをしたということですが、元気なこと。

小林稔明さん(高13回)は、仕事は後輩に譲り、工学倫理を教えられていたそうです。今は人生をいかに楽しむか、がテーマということでした。子や孫に人生論を具体的に語るようにしているとのこと、娘さんの小林さんに対する対応に変化がみられるとのことでした。考えさせられた内容でした。

各テーブル、大いに飲み、食べ、語り、2時間はあっという間に過ぎた感じでした。

ハイキング等今後の計画の発表があり、集合写真を撮り散会。帰路につく人、飲みに行く人、歌に行く人、麻雀に行く人などそれぞれでした。また夏の再会を期して。

(高23回 野池 徹)

長野高校吹奏楽班OB・OG

第49回定期演奏会開催

去る3月31日(土)、長野高校吹奏楽班OB・OG(以下、OB)会は第49回定期演奏会を長野市芸術館で開催いたしました。

演奏会は例年通り三部からなり、第一部はOBのみの演奏、第二部は現役生みの演奏、そして最後の第三部は現役生とOBとの合同演奏という構成で行われました。指揮は長年にわたり吹奏楽班をご指導いただいた山本昇先生をはじめ、今まで様々な形でお世話になった先生方へお願いし、幅広いジャンルの曲が演奏されました。

特に今年は、2年ぶりに8年間吹奏楽班の顧問を務められました松井先生にも指揮をお願いいたしました。当時、松井先生に指導を受けたOBには、「当時の指導を思い出し、とても懐かしかった」という感想もいただきました。

このように、OB定期演奏会は現役時代の先生方との懐かしい交流の場でもあり、またOBと現役生との世代を超えた交流の場でもあります。いよいよ来年には半世紀となる50回記念定期演奏会を迎えます。

OBの繋がりを中心に、長野高校吹奏楽班に関わった方々の交流がさらに広まっていくことを願ってやみません。この伝統を尊重し、現役生のよき目標となるようにこれからもOBによる定期演奏会を盛り上げていきたいと思っております。

〈お知らせ〉

・定期演奏会の様子は公式サイトでご覧いただけます。





長野高校吹奏楽班OB・OG会

⇒<https://nhb-obog.net>

- ・OB会事務局はOBの皆様にもメルマガを配信しております。ご希望の方は公式サイト案内に沿ってメールアドレスをご登録ください。
(長野高校吹奏楽班OB・OG会)

高15回 同期会

5年ごとに実施してきた同期会も今年は55周年。4月15日(日)・16日(月)に上山田温泉ホテル圓山荘で、遠路県外からも含めた80名の参加を得て、校歌「山また山」の斉唱と、物故者64名への黙禱で会は始まった。

会長の竹中則義君は挨拶の中で、カナダ旅行中に現地ガイドから、折れたピッケルの友情で皆様周知の「アルバータ峰」について、「日本の長野高校山岳班も登頂に成功した峰である」との説明を受け、外国の地で母校の名前を聞いた感動体験を披露した。先輩方の活動のスケールの大きさを再認識した次第であった。

我々は、野球部が夏の甲子園大会へ出場した年の名誉ある3年生である。当時の応援団長の五明昇君の指揮で、甲子園球場での応援に想いを馳せながら「見ずや春風」「凱歌」を熱唱し、卒

業後初めてという参加者もいて、酒宴は懐かしい話で盛り上がった。

恩師の依田良春先生におかれては、まもなく91歳を迎えられるとは思えない元気なお姿でご参加くださり、「毎日を楽しく過ごすという気持ちが元気のもとである」とのお話に、「様々あっても前向きに生きよ」との激励をいただいた思いであった。

4月16日は、日本晴れの中、川中嶋カントリークラブでのゴルフと小布施町探訪という二つの企画があり、それぞれに終日信州の春を満喫し、再会を約して帰途についた。(高野忠夫)

高9回 東京北ラス会定例会

東京北ラス会の定例会が5月8日(火)、東京KKRホテルで開かれました。長野からの参加者12名を含め58名が参加し、楽しい一時を過ごしました。

東京北ラス会は年一回開いておりますが、今年は平成30年、会員が傘寿になる年であります。記録が明確な昭和63年以降の最多出席者は加畑高治君、北沢章男君、次点が遠藤誠之君、才口千晴君と発表されて、賞賛の拍手が送られました。長野の藤



高15回



高9回 東京北ラス会

島淑男君から母校の現況の報告があり、暫し、高校時代の我身を思い出し、後輩の活躍と母校の発展を祈念いたしました。

これからも互いに健康に留意して、一年でも永く北ラス会を続けようと誓い合いました。

(文 大島重利、写真 越石喜代三)

生物班

「うばたまむし10号」を発刊

長野高校生物班のOB誌「うばたまむし10号-2017年号」が、このほど発刊の運びとなりました。併せて昨年に続き国立国会図書館に納本しました。今年(2018年)も「11号」を目指して原稿を募集中です。

OB誌は、2007年(平成19年)、島田知彦さん(高50回)ら実働部隊が全国のOBに呼びかけて初めて刊行しました。誌名は現役生物班の機関誌「吉丁虫(玉虫・たまむし)」にちなんで「うばたまむし」。「玉虫厨子」などでご存知のように玉虫はきらびやかな肢体の昆虫ですが、「うばたまむし」は形は玉虫とほぼ同型ながら、それに比べるとややくすんだ感じで長野市辺りでも見

られる実在の昆虫です。

その後、3号の刊行を機に4号からは長野在住のOBが編集委員会を組織して編集・製作を引き継ぎ、ほぼ年1回、継続的に刊行してきました。

生物班OBは、編集委員会が把握しているだけで約700人。「あの日、あの頃」をテーマとした記念号の10号へは約60人が寄稿。ページ数は260ページを超える分厚い冊子が出来上がり、約200冊を関係者に配布しました。

寄稿の最年長は日米開戦の1941(昭和16)年頃、長野中学時代から現在に至る70年もの長い期間にわたっています。現役の頃は生物班でも卒業後は別の道に進んだものがほとんどで、生物だけでなくそれぞれの時代背景を反映した年齢縦断的な多彩な読み物集が出来上がっています。

なお、今年から編集委員会の事務局が変更となります。事務局から連絡のないOBの皆様は、下記までご連絡ください。また、6~10号及びDVD版は事務局に残部があります。ご注文ください。併せて本年発行の11号への寄稿をお待ちしています。

(高13回 牛山 洋)

- うばたまむし編集委員会事務局
- 〒380-0803
- 長野市三輪4-9-5 花崎秀紀
- ☎090-1288-4901
- E-mail : bobryu0517@yahoo.co.jp



「長高緑の基金」御礼・報告

昨年度、金鶏会館前庭の松の手入れなどで募金をお願いしたところ、多くの皆様のご協力で、総額120万円余が集まりました。ここに御礼とご報告申し上げます。

なお、募金状況は以下の通りです。

募金総額	1,212,400円
団体 高6回	2万円
高19回 卒業50周年寄付金	20万円
高19回 応援団有志	15万円
高29回 卒業40周年寄付金	25万円
高39回 卒業30周年寄付金	6万8,300円
同窓会回期別ゴルフコンペ参加者	5万8,100円
個人 10万円(2名)、3万円(2名)、2万円(1名)、1万円(15名)、5千円(2名)、3千円(8名)、2千円(1名)	

昨年度中にさっそく、おらが園さんに赤松12本の整枝剪定・樹勢回復をしていただきました。今後、5年程度は10~15万円程の予算で管理していきたいと思っております。ありがとうございました。

平成30年度同窓会費(3,000円)のご送金をお願いいたします。

口座振替の方は6月27日(水)に引き落としとなります。本年度は高8回までの会員の方々が会費免除になります。

送金方法

■同封の振込用紙でのお振り込み

コンビニ・郵便局でお振り込みください

■銀行へのお振り込みは下記の口座へお願いいたします

- 八十二銀行 長野北支店
普通 133722
一般社団法人長野高等学校金鶏会
- 長野信用金庫 城北支店
普通 0031958
一般社団法人長野高等学校金鶏会

結婚相談

ご希望の方は申し込み用紙を電話またははがきでご請求ください。年齢、性別、学歴等は問いません。

TEL.026-235-3822 長野市上松1-16-12 長野高等学校同窓会 結婚相談室

市民大学事業のご案内

古代史講座

主催：科学研究費補助金(基盤研究(S))「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と
日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト
協力：一般社団法人長野教育文化振興会

於 金鷄会館大講義室

続・古典を読む—歴史と文学—「いま明かされる古代」シリーズ39 & 戦国

第1回 5月19日(土)

東京大学 史料編纂所 古代史料部門 教授 田島 公 先生
「奈良・平安時代の天皇家の文庫・宝蔵の歴史」

第2回 5月27日(日)

立命館大学 文学部 日本史研究学域 教授 本郷 真紹 先生
「男帝初の生前讓位」—聖武天皇の退位と出家—

第3回 6月2日(土)

関西大学 文学部 総合人文学科 日本史学専修 教授 西本 昌弘 先生
「早良親王の生涯と御霊信仰」—大安寺・大伴家持・国分寺読経—

第4回 6月16日(土)

大阪城天守閣 館長 北川 央 先生
「真田幸村と大坂の陣」—名将の生き方・戦い方—

第5回 6月30日(土)

東京大学 史料編纂所 中世史料部門 准教授 末柄 豊 先生
「戦国時代の天皇」—その手紙と日記から—

Science Cafe

金鷄会館サイエンスカフェ・アートカフェのご案内

今年度は、下記の日程・内容で企画しております。会員の皆様、PTAの皆様、現役生徒、
一般市民の皆様、どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。

◇金鷄会館サイエンスカフェ

9月22日(土) 午後1時～3時

会 場 金鷄会館 2階大講義室

講 師 入来 篤史 先生(高28回)

理科学研究所生命機能科学研究センター・
チームリーダー

理研・南洋理工大連携研究センター長

演 題 「心を育み脳が紡ぐ生命の進化の来し方
行く末」

参加費 500円(お飲み物付き)

高校生以下無料

定 員 90名



◇金鷄会館アートカフェ「陶芸教室」

昨年好評につき、今年も開催します。

9月1日(土)・15日(土) 午前10時～12時

会 場 長野高校 美術教室

講 師 小池 知久 先生(高50回・陶芸作家)

講 師 恩澤謙一郎 先生(本校美術教諭)

第1回 成形(今年は練り込みの作品に挑戦)

第2回 釉かけ 絵付け

焼成後、作品はお持ち帰りいただけます。

参加費 2,000円(粘土・釉薬・焼成費等含む)

高校生以下無料

2回とも出席できる方、先着20名で募集します。(初心者向け)



平成30年度 同窓会総会のご案内

期 日 平成30年6月23日(土)

会 場 ホテル国際21

総 会 午後2時～ 藤の間

講演会 午後3時～ 藤の間

演題 「宇宙開発の仕事

～地球観測衛星の開発・利用～」

講師 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

第一宇宙技術部門先進レーダ衛星プロジェクト

マネージャ

鈴木 新一氏(高35回)

現役3年生によるSGH研究発表

懇 親 会 午後4時30分～ 千歳の間

会 費 5,000円 当日受付でいただきます。

*今年度の当番は、高35回・高47回・高59回の方々です。

*出席される方は事務局へお知らせください。

回期別対抗ゴルフコンペのご案内

期 日 平成30年9月30日(日)

場 所 長野カントリークラブ TEL 026-239-3100

費 用 プレー代 13,050円(食事付き)

※優待券は使えません

参 加 費 3,000円

競技方法 新ベリア方式

☆団体戦：各回期上位3名までの団体合計成績
順位

☆個人戦：個人別成績順位

申込方法 はがき又はFAXで同窓会事務局へ各回期3名以上
の連記(2組以上可)でお申し込みください。

締切り日 9月15日(土) *25組で締切ります

※各組のスタート時刻、その他詳細については9月22日頃、
参加者にご連絡いたします。

寄贈図書



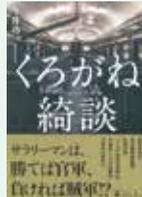
昭和の映画館主奮闘記

著者 中谷 治氏(長中48回)



定石事典 上巻/下巻

横川正夫氏(高1回)寄贈



くろがね綺談

著者 今井功一(梅沢功)氏(高2回)



遙かなり満州

著者 杉山光信氏(高7回)



満州の夕焼け雲

挿絵 杉山光信氏(高7回)寄贈



医療・福祉の総合情報誌 JAPAN MEDICAL SOCIETY
2017年12月号～2018年1月号～5月号
野村元久氏(高10回)寄贈



先生のためのことばセミナー
子どもをとりまく
(最新ことば事情)
著者 加藤昌男氏(高13回)



福島第一原発事故の法的責任論1・2
著者 丸山輝久氏(高14回)



ひろちか先生に学ぶ ことよみの学校Ⅱ
著者 中牧弘允氏(高18回)



常在戦場
金川千尋100の実践録
中村 健氏(高22回)寄贈



樹木&木材
エンサイクロペディア
著者 萩原 実氏(高27回)



長野高校生物班OB会誌 うばたまむし10号
2017年号
DVD版10号
生物班OB会 寄贈



市誌研究ながの 第25号
高木 寛氏 寄贈



青春小諸義塾 サムライ教師と未来の学校
著者 大川公一氏

薬師寺東塔「縁の瓦」

昭和25年12月、奈良県国宝保存連盟等からの依頼で、全国の小・中・高等学校の児童生徒達に国宝保存の募金協力が呼びかけられ、この浄財と国庫補助金によって法隆寺・薬師寺他15の古社寺の保存修復が行われました。当時の長野北高校の生徒もこの募金に協力したとのことでした。

平成21年より薬師寺では110年ぶりの国宝三重塔(東塔)の解体修復が行われました。この時学校名が裏面に刻まれた屋根瓦が発見されました。その瓦の中で、再利用されない瓦がこのた

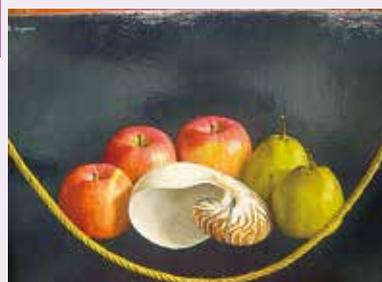
び感謝の意を込めて、里帰りすることになりました。「縁の瓦」として、長野高校に昨年寄贈されました。あの薬師寺の東塔には長野高校の名前を刻んだ瓦が長年眠っていたのでした。



池亀 彬 氏(長中40回) 絵画寄贈

池亀彬氏のご遺族より、作品20点が寄贈されました。

校長室・美術室・金鶏会館応接室に展示させていただきました。ありがとうございました。



池田満寿夫ギャラリー

金鶏会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。ぜひ、ご覧にお越しください。(平日14時～17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)



- 事** ○卒業20周年同窓会(高50回)は、ホテルメトロポリタン長野にて8月11日(土)午後5時より開催されます。
- 務** ○卒業30周年同窓会(高40回)は、ホテル国際21にて8月11日(土)午後5時より開催されます。
- 局** ○卒業40周年同窓会(高30回)は、ホテル犀北館にて8月11日(土)午後2時より開催されます。
- 便** ○卒業50周年同窓会(高20回)は、ホテルメトロポリタン長野にて7月21日(土)午後5時より開催されます。
- り** ○高14回の皆様より、3万円のご寄付を賜りました。ありがとうございました。